



☆卒業証書授与式! ☆

本日、卒業証書授与式を挙行いたしました。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くの来賓の方々に参列をご遠慮いただき、例年よりやや少人数の開催となりましたが、24名の生徒が立派に卒業しました。その姿は緊張感に包まれながらも頼もしく感じるものでした。楽しみにしていた、卒業生作詞作曲の「矢言(しげん)ーちかいのことばー」の合唱を式場で聴くことはできませんでしたが、素晴らしいメロディー、心に響く歌詞は、みなさんの思いが詰まったものでした。

卒業証書を一人ひとりに手渡しする際には、一言ずつ言葉をかけさせてもらうのですが、なかには小さい声で「ありがとうございます」と返してくれる卒業生もあり、「こちらこそ、ありがとうございました。」と返したくなる気持ちでした。

本当にありがとうございました。また、おめでとうございます。
卒業生の皆さん、それぞれの進路での活躍を期待しています。

卒業生に伝えた、式辞を掲載させていただきます。

暖かな春風に誘われて、校庭の梅の花が咲き始め、桜の蕾も膨らみ始めました。

本日、このように、本校第73回卒業式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。この様な状況ではございますが、只今卒業証書を授与いたしました24名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、新たな一步を踏み出そうとしている皆さんの脳裏には、この3年間の色々な思い出が去就していることと思います。

卒業証書を受け取る顔には、中学校三年間、義務教育九年間の学びを得て、立派に成長した自信と誇りが感じられました。あなたたちは本校の卒業生として、塩浜中学校の歴史に確かな足跡を残してくれました。

特に体育祭や文化祭においては、一人ひとりが熱い思いを持って、仲間とともに一生懸命取り組み、その姿は眩しく輝いていました。「後輩たちの手本になる」という強い信念のもと、限界に挑戦する姿は、塩中生としてのプライドを示すものであり、「目標を持ち、自ら最後まで努力する生徒」「互いの個性を尊重し、認め合える生徒」「明るく笑顔であいさつする生徒」の伝統のバトンを後輩たちにつなぐものでした。仲間とともに過ごした時間の中で、感じたこと、考えたこと、手に入れたものは、たくさんたくさんあったことでしょう。そして、周りの人たちにも、たくさんの感動を与えてくれました。本当にありがとう。

今、世界中が新型コロナウイルスに翻弄されています。感染拡大防止のための臨時休業で、共に時間を過ごすことができなかつたのは、大変残念なことでした。しかし、これまで培ってきた仲間との絆は深く、気持ちはいつもつながっていたはずです。

ピンチはチャンス! 見方を変えれば、今回の出来事は、新しい時代への変革を加速するものかもしれません。

『人間万事塞翁が馬』という言葉があります。今回の経験は、今後の人生において、大きな学びとなることでしょう。そして、その学びは、人間としての幅を広げてくれることでしょう。

順境にあって侮らず（あなどらず）、逆境にあって焦らず、常に前を向き、一步一步着実に歩みを進めていくことを願っています。どうか、感謝の気持ちを忘れず、人の痛みを感じ取れる「豊かな感性」と、冷静に考え行動できる「本物の知性」を持ち続けてください。それが、輝く未来へのサポートです。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、悩みも多く、多感な時期で、心配の種は尽きなかったことと思います。

けれども、子どもたちは様々な困難を乗り越え、立派に成長しました。これまでの三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに、心より深く感謝申し上げます。今後は、地域や社会の中で、自立・貢献・共生していく子どもたちを、見守り支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

卒業生の皆さん、塩浜中学校は皆さんの母校です。輝く未来に向けて、この塩浜中学校で過ごした日々を心の糧にして、力強く、誇り高く、羽ばたいてください。

また、「志」を持つことにより、他者の幸せを考え相手に対する思いやりが持てるようになります。この、かけがえのない仲間たちを生涯の友として、喜びを分かち合い、苦しい時には助け合い、心豊かな人間関係を構築して行って下さい。

これから皆さんが進む世界は中学校とは異なり、義務教育ではありません。勉強にもスポーツにも、今後出会うであろう新たな活動にも、人に言われてやるのではなく「大志をもって」自分の意思でやることが大切です。

最後に、『意識を変える』という詩を送りたいと思います。

『意識が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変わればよい成果に結びつく。そして、人生が変わる。』

人生は一回限りで、後戻りはできません。充実した人生を送れるかどうかは、皆さん自身の気持ち次第です。皆さんの前途に幸多かれとお祈りし、式辞といたします。

